

報道記録
(2016年度)

2017年3月2日	「下工弁慶号」特別公開	→
2016年10月12日	きらめき賞は11団体と5人	→
2016年10月7日	「県民活動きらめき賞」を頂くことになりました	→
2016年7月26日	”小型べんけい号”の試乗に人気	→
2016年5月31日	来年の誕生110周年へ準備	→
2016年5月2日	「下工弁慶号」修復に携わった先生が春の叙勲：「瑞宝小綬章」（教育功労）を受章されました	→

「日刊 新周南」2017年3月2日（木曜日）5面

「下工弁慶号」特別公開
5日・英国車両陸送に合わせて

●下松●
S
「下工弁慶号」特別公開
5日・英国車両陸送に合わせて

下松市役所前の格納庫に展示されている蒸気機関車「下工弁慶号」が五日午前九時から日立製作所で作られている英国向け高速鉄道車両の陸送見学会イベントに合わせて特別公開される。

下工弁慶号を通じた地域づくりに取り組んでいるNPO法人下松べんけい号を愛する会（大木孝行理事長の主催。下工弁慶号は一九〇七年に東京石川島造船所で製造された現存する国産SLでは三番目に古い蒸気機関車。徳山海軍煉炭製造所で使われたあと下松工高の実習用に払い下げられ、その後、同校同窓会が市に寄贈した。

普段はガラス張りの展示保管庫に入っているが、この日は外に出してふれられるようになる。問い合わせは副理事長兼事務局長の栗田一郎さん（080・1946・5118）へ。

べんけい号への年賀状 630点展示

● 下松 ●

下松市のNPO法人
下松べんけい号を愛す

る会が募集した「べん
けい号への年賀状コン
日までほしらんどくだ



6日まで・ほしらんどくだまつ

まつで開かれ、保育園、
幼稚園児、小学生など
から寄せられた六百三
十点が並んで楽しませ
ている。

べんけい号は一九〇
七年に製作され、現在
は市役所前に展示され
ている小型の蒸気機関
車「下工弁慶号」で、年
賀状の募集は五回目。

煙を吐きながら走る
姿や見物する子どもを
描いたり「百十歳おめ
でどう」の言葉が入る
などさまざまな愛情の
こもった年賀状が集ま
った。

市長賞、市議会議長

賞などの計五点と優秀
賞、優秀賞三十二点、
特別賞六点も選び、一
月二十九日に会場で表
彰式もあった。上位入

賞者は次の通り。 にもとだいき(公集小)
市長賞Ⅱうちやまら ▽市文化協会賞Ⅱなか
ん(下松小)▽議長賞 たさや(中村小)▽べん
Ⅱなかたゆうや(中村 けい号の会賞Ⅱかわか
小)▽市教育長賞Ⅱく みかえで(あおぼ保)

110歳機関車「弁慶号」お祝いの賀状

下松、園児らの観点展二示

下松市内の園児や児童が、市役所前広場に飾られている蒸気機関車「下工弁慶号」に宛てて描いた年賀状630点が、同市大手町の

ほしらんどくたまで展示されている。2月1日まで。

1907年製造の弁慶号は、この機関車では3番目に古いとされる。2、12歳が、はがきサイズの紙に色鉛筆などで緑色の車体を描き、「110さいおめでとう」「はしっているところがみたかったな」といった言葉や、えとにちなんだ鶏の絵を添えた。

下松小2年相本凌摩君(8)は「下松だから弁慶号の周りに星と松を描いた」と話した。

弁慶号は徳山海軍燃料廠（現下松工業高）が美観用に譲り受けた。96年から市が管理する。年賀状は、NPO法人「下松べんけい号を愛する会」が2013年分から募集し5回目。2月2、6日は児童たちが描いた弁慶号のスケッチ約100点を展示する。(高田果歩)



弁慶号への年賀状に見入る
児童

地域貢献賞に5団体

県民活動団体



村岡副政知事から賞状を受け取るチャレンジやまぐち！
地域貢献賞の受賞団体代表者＝11日、美祢市

きらめき賞は11団体と5人

県民活動団体の関係者が一堂に会する「きらめきジョイントフォーラム」が11日、美祢市秋芳町秋吉の秋吉台国際芸術村で開かれ、5団体がチャレンジやまぐち地域貢献賞(山口県知事表彰)、11団体と5人が県民活動きらめき賞(山口県きらめき財団理事長表彰)を受賞した。県、同財団、やまぐち県民活動支援センター主催、山口新聞社など後援。

地域貢献賞は、県民活動や社会貢献活動などに資する団体の特に優れた取り組み、きらめき賞は自主的、主体的な県民活動の推進な

どに寄与している団体や個人を表彰する。表彰式で同財団理事長の村岡副政知事が「皆さんが熱い思いを持って、長年活動されている

ことに感謝申し上げます。皆さんの活動により、山口県がますます素晴らしい地域になることと確信している」と激励。受賞団体の代表者や受賞者にそれぞれ賞状を手渡した。

各賞の受賞団体、受賞者は次の通り。(敬称略)

- 地域貢献賞 青海島いわがき育成研究会(長門市)地域子育て支援ネット・親鸞会(山口市)TEAM378、TRY(以上周南市)
- きらめき賞(山口県知事表彰) 宇部市民オリクスドラム(宇部市)おはなしくれヨン、ヒューティケア山口、奥和太鼓連盟(以上山口市)周東古代ハスの会、岩国子ども劇場、古市節分草保存会(以上岩国市)下地へんじい(宇部市)を愛する会、子ども劇場くたまつ(以上下松市)
- きらめき賞(山口県知事表彰) 光人形劇協議会(光市)よんよん隊(防府市)▽
- 同・個人 開村修三(周南市)木村恒之(山口市)重村啓二、栗兼佑司(以上下関市)三好美喜子(宇部市)

「日刊 新周南」2016年10月7日（金曜日）1面
「県民活動きらめき賞」を頂くことになりました

山口きらめき財団より、理事長表彰である「県民活動きらめき賞」を頂くことになりました。
この賞は、ボランティア活動、NPO活動、コミュニティ活動など自主的・主体的な県民活動を行い、
県民活動の振興に貢献した団体や個人に贈られるもので、下松べんけい号を愛する会のこれまでの
活動が認められたものと考えます。

表彰式は「きらめきジョイントフォーラム2016」のプログラムのひとつとして行われます。
フォーラムの詳細は以下です。

【きらめきジョイントフォーラム2016】

- 日時：2016年10月11日（火）10:30?15:30
会場：秋吉台国際芸術村（美祢市秋芳町秋吉50）
内容：10:30?12:00 きらめき活動助成事業中間報告会
12:50?13:20 芸術村コンサート（芸術村村長ヴァイオリン）
13:30?14:00 式典・表彰式
14:00?15:30 講演
地域や団体が元気になる「ボランティア マネジメント」とは？
講師 早瀬 昇 氏
（社会福祉法人 大阪ボランティア協会常務理事）
※ 10:30?15:30 団体パネル展示・相談会他

TEAM376、TRY!

● 地域貢献賞を受賞

県

● 11日・きらめきフォーラム

県民活動団体の優れた取り組みをたたえる「チャレンジやまぐち」

同賞はやまぐち県民の活性化に取り組んで活動パワーアップ賞を引継いで昨年から始

人を表彰する。同フォーラムは県な

地域貢献賞の表彰式が十一日午前十時半か

まつた県知事による表彰。今回は五団体で、長門市の青海島いわがき

どの主催。きらめき活動助成事業中間報告

ら美祢市の秋吉台国際芸術村で開かれるきらめきジョイントフォーラム2016の式典の

育成研究会、山口市の地域子育て支援ネットワーク「親鳩会」、被災写真の

木資義さんのバイオリンなどのコンサートのあと午後一時半から式典と表彰式。二時から

席上であり、周南市から和田地区の地域起しグループ、TEAM

のりす会山口が選ばれた。このほか山口きらめき財団理事長表彰の県

会常務理事の早瀬昇さんの講演「地域や団体が元気になる『ボランティアアマネジメント』と

376(佐藤貴志代表、四十一人)と東ソー

TEAM376は和田を舞台にした演劇の上演、映画の製作、特産

は？」がある。問い合わせは同財団

南陽事業所の若手従業員のTRY!(酒寄貴文代表、十一人)が受賞

品を生かしたメニューづくりなどをして地域

議会など十一団体と周南市の県民活動推進委員の開村修三さんら五

する。

員の開村修三さんら五

600)。

する。

員の開村修三さんら五

600)。

来年の誕生110周年へ準備
下松べんけい号を愛する会が総会

来年の

誕生110周年へ準備

● 下松 ●

● 下松べんけい号を

愛する会が総会

下松市のNPO法人 しらんどくたまつて二下松べんけい号を愛する会（大木孝行理事長）が、来年の下松べんけい号の総会が二十八日、ほ号百十周年記念事業の

準備や動かせる復元SLミニモデル機の製作を進めることなどを話し合った。

同会は下松工高で実習に使われ、現在は市役所前の広場に展示されている小型の蒸気機関車、下工弁慶号の保存、活用を通じた子育て支援、生涯学習などに取り組んでいる。

役員の選任では大木さんを理事長、栗田一郎、国弘成文、古村敏彦、藤川光儀さんを副理事長に選んだ。事業計画は今年も市の生涯学習フェスタへの参加やべんけい号への年賀状コンクールに取り組むことを決めた。



平成28年夏

議長を務めた大木理事長

「下工弁慶号」修復に携わった先生が
春の叙勲：「瑞宝小綬章」（教育功労）を受章されました



瑞宝小綬章

ものづくり

人材育成に寄与

元高等学校長

桜谷 宗生さん (70)

周南市岐南町

主に工業系高校で三十八年間にわたって教え、ものづくりの人材育成に尽力し、田布施工高、宇部工高の校長を務めた。

岩国市出身で横浜国立大学機械工学科卒業。振り出しの下松工高では計十四年勤め、

今は下松市役所にある蒸気機関車「下工弁慶号」をほかの教員三人と中心に一年半かけて分解・修理し、六十周年記念式典で動かしたことが記憶に強く残る。

南陽工高でも教え、

高い技術を持つ人材の

育成を心掛けてきた

中、宇部工高校長時代に

県公立高等学校長会

工業部会長になり、県

内の工業系高校生対象

の旋盤・溶接・化学分

析の競技大会を創設し

た。

現在は奨学金給付な

どの日本教育公務員弘

済会山口支部参事。「お

世話になった地域に恩

返しができるよう頑張り

たい」と話す。

先日、ご祝意を申し上げましたところ、先生から「下松べんけい号を愛する会」へ次のような激励を頂きました。ありがとうございます。

拝啓 薫風がさわやかな季節となりました。五月、私にと
春の銀鮎(ぎんあじ)は、津に降り、早速のご祝意を賜わりまして誠に有難
く厚くお礼申し上げます。
以有貴殿から「下松工業号」のごことで何度かご案内をいたさ
ました成、多くの下松工業高校の同窓生が、現在まで「べんけい号」を
愛し、これまで様々な活動と続けてこられたことに、心から
敬意を表したいと思っております。昔、下松工業高校に在職した際
にまた下松工業号の修復作業にかかりました一人として
とても頼もしい限りです。
どうかこうした素晴らしい活動が長く続くことを心から
お祈り申し上げます。
五月七日
敬具